

令和3年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	石井 哲也
組織の目的・方向性	人口減少や少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会や区自治協議会をはじめ、地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。区職員が一丸となり、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力の創出や活用に取り組むことで、人もまちも元気で笑顔あふれる東区を目指します。		

東区組織目標

東区では、区ビジョンまちづくり計画で掲げた区の将来像の実現を目指して、これまで重点的に進めてきた「安心安全なまちづくり」、「支え合い助け合うまちづくり」、「魅力あふれるまちづくり」に向けた様々な取り組みを引き続き実施していきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 2 高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援するとともに「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。また、健康寿命延伸に向け、コミュニティ協議会と協働した介護予防事業を実施します。
- 3 子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。
- 4 東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、「産業のまち東区」のPRや歴史の普及啓発、文化の発信に取り組んでいきます。
- 5 貴重な自然環境を有するじゅんさい池を未来につなぐため、魅力を発信するとともに、今後の活用方法などを検討していきます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 防災出前講座については、コロナ禍の影響によりキャンセルもありましたが、DVD教材の活用など、取り組み方法を丁寧に説明することで実施につなげ、防災意識の向上を図りました。</p> <p>2 対象の全世帯へ訪問を実施し、高齢者の生活実態把握とニーズ調査を行い、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。また、</p>				

	<p>支え合いのしくみづくり会議の情報交換会を開催し、各コミュニティ協議会の取組が円滑に進められるよう支援を行いました。さらに、健康寿命延伸のために新たに2地域のコミュニティ協議会で介護予防講座を実施したほか、講座終了後はコミュニティ協議会が自主的な活動ができるよう支援を行いました。</p> <p>3 「い〜てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援講座を通じて、子育て世代同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に努めました。</p> <p>4 東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、フォトコンテストを実施するとともに応募作品を公式Instagramで紹介し、継続的に東区の魅力を発信しました。また、東区歴史文化プロジェクトとして、まち歩きを計画どおり実施し、多くの方から参加いただきました。</p> <p>5 地域住民や有識者で構成するじゅんさい池みらい会議を開催し、じゅんさい池の価値や魅力を未来につなぐため、今後の環境保全のあり方や、利活用の方向性を共有するための「じゅんさい池みらいプラン」を策定しました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 丁寧な説明を継続することで、防災出前講座に多くの団体から受講していただき防災意識の醸成に努めるとともに、地域防災力の向上のため、「避難所運営ワークショップ」を開催します。</p> <p>2 高齢者見守り訪問を引き続き実施するほか、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座を継続して実施します。</p> <p>3 引き続き子育て支援講座を開催するなど、親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組むとともに、育児に関する動画や子育て施設の情報を配信し、講座の参加に消極的な方にも情報を届け、相談に繋がりやすい環境づくりを進めます。</p> <p>4 「産業のまち東区」をいつでも誰でも楽しめるように、公式Instagramや動画を活用し魅力を発信していきます。また、地元企業と新潟県立大学などとの連携を通じ、「まちづくり」と「ひとづくり」を進めます。さらに、区内の歴史について普及啓発が図れるよう取り組んでいきます。</p> <p>5 「じゅんさい池みらいプラン」に基づき活動母体の基盤づくりを支援するほか、地域や行政が各々の役割のもと活動を展開するとともに、魅力発信や保全活動への関心を高めるための機運醸成を図っていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2710
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	区民や地域の団体との連携により、区民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。 また、職員研修等を通じて市民満足度の向上を図るとともに、様々な施設や商業テナントが入る区役所としてにぎわいを創出し、区民から親しんでいただけるような事業を展開していきます。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1	1	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。	・防災出前講座の開催 ・自主防災組織等の活動支援 ・避難所運営体制の強化 ・啓発事業	防災出前講座の開催	40自治会等で実施	49自治会等で実施	18自治会等で実施	30自治会等で実施	26自治会等で実施	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画)	昨年同様、新型コロナの影響により申込数が少なく、キャンセルも15件あったが、ほぼ目標通りの実施回数となった。多くの団体に利用いただくため、コロナ禍における実施方法や、市販のDVD教材を用いた勉強会実施について丁寧に説明した。	一部未達成
2		区職員の研修により、市民の皆さまから満足していただけるよう、サービスの質を高めていきます。	・区独自の職員研修の実施 異動者研修 メンタルヘルス研修 救命講習 接遇研修等の実施	異動1回 メンタル2回 救命1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	区独自研修5回 (異動、メンタル、救命、サービス向上研修を予定)	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修2回	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画)	新型コロナの市内の感染状況を考慮し、対面形式や研修動画を個別視聴する方法などを適宜選択し、予定どおり研修を実施することができた。	達成	
3		東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。	・南口エントランスホール活用事業	南口エントランスホールの活用日数(有償貸付のみ。市事業紹介パネル展示を除く)	147	131	104	100	76	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) ・物販、イベント等の活用日数	新型コロナウイルスワクチン接種会場としての稼働日が、当初想定していた24日間を大きく上回り83日間実施したため、会場使用に制限がかかり目標達成には至らなかった。	一部未達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら以下の事業に取り組みます。 地域防災力の向上のため、自治会やコミュニティ協議会等において「防災出前講座」を開催し、地域の特性や防災基礎知識を学んでいただき、災害時の円滑な避難行動や平時からの備えに結びつけていきます。また、職員(講師)の派遣を伴わない啓発方法を検討し、実施します。また、人材育成の面では、区独自の職員研修を実施し、市民に満足されるサービスを提供できる職員を育成します。さらに、区役所における賑わいづくりとして南口エントランスホールの活用事業を引き続き実施し、地域の多様な活動の場を提供します。	防災出前講座については、コロナ禍の影響によりキャンセルする団体もありましたが、実施に向けた方法などを丁寧に説明することで、ほぼ目標通りの実施につなげることができました。次年度も丁寧な説明を継続することで、多くの団体から受講していただき、地域防災力の向上を図っていきます。 人材育成の面では、区独自の職員研修の開催方法をその都度、検討・選択し予定どおり実施できたことで、職員の窓口サービスの維持・向上に繋げることができました。 区役所での賑わいづくりとして、南口エントランスホールにおける物販や展示会等の様々な活動が行われました。対象区画が東区のワクチン接種会場となったことから活用事業の場としての利用日数に制限が生じましたが、そのなかでも新規事業者による出店が行われるなど、出店者の幅を広げることができました。今後も状況に応じ賑わいづくりができるよう努めていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2380

年度	令和3年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	地域の人々とのふれあいや支え合いのなかで、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、区民、団体、事業者、区社会福祉協議会など、地域全体と協働で地域福祉の推進に取り組みます。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標	
1	2	高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援するとともに「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。また、健康寿命延伸に向け、コミュニティ協議会と協働した介護予防事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施 ・支え合いのしくみづくりの深化 ・介護予防事業の開催 	東区全域での高齢者世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象世帯 75歳以上で介護認定を受けていない、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯 ・特色ある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) 	・民生委員に協力いただき、すべての対象世帯を訪問した結果、二次訪問が必要と判断した世帯について、保健師等が265世帯を訪問し、状況に応じて介護保険申請、介護予防(総合事業)申請など、適切なサービスに繋がりました。	達成	
				住民主体の訪問型生活支援を実施した地域	-	2	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) ・新たに実施した地域 	・1層、2層推進員と連携のもと、東区内の12圏域の2層協議体のうち1地域で、補助金を活用した住民主体の訪問型生活支援(ごみ出し、家の周りの掃除など)が新たに開始となりました。	達成	
				東区支え合いのしくみづくり会議情報交換会の開催(回)		3	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) 【コロナ禍における影響】	・東区1層協議体を2回開催し、区として取り組むべき課題について検討しました。また、2層協議体の情報交換会を1回開催し、情報共有を図りました。2月に予定していた研修会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。	一部未達成	
				コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座の実施(回)		-	6	10	11	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある区づくり事業 	・下山コミ協3回、南中野山コミ協4回、自主活動に向けた支援として桃山コミ協2回、東中野山コミ協2回実施しました。	達成	
2		地域の健康課題に応じた健康づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯つぴーすまいるプロジェクトの推進 	こども食堂・認可保育園・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブにおける歯と食育の健康相談・健康教育の実施(回)	-	-	26	40	40	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある区づくり事業 ・新潟市生涯歯科保健計画 	・子ども食堂で9回(5か所)、保育園・認定こども園・幼稚園等で13回(13園)、放課後児童クラブで18回(18施設)実施しました。	達成	
3	3	子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「マタニティ期からつながるすくすく子育て応援事業」で取り組む事業を中心とした、「い〜てらす」及び「わいわいひろば」における子育て支援講座の開催 	主な子育て支援講座の開催(回)	90	91	118	100	111	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) ・子育て支援講座や相談会のリモートによる開催 	・まん延防止等重点措置による施設の臨時休館が生じた中、事業スケジュールの変更、参加者調整、リモート開催の活用により予定した事業数を上回ることが出来ました。	達成	
4		児童虐待に対しの確で迅速な対応と虐待を未然に防ぐために、関係機関と連携し虐待が起こる前にも情報共有を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止にかかわる関係機関との情報の共有化 	区内小中学校への訪問(回)	-	69	77	60	71			・3か月に一度の学校訪問を基本にして区内の小中学校を定期訪問し、児童虐待の早期発見に繋がる連携強化を図りました。	達成
5		継続的に業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・各係、各グループで、業務や窓口等における継続的な業務改善を実施します。 	改善実践報告の件数(件)	-	18	28	15	15	<ul style="list-style-type: none"> ・各係、各グループ3件以上の取組 	・継続的に効率的・効果的な業務や窓口改善に取り組み、区民目線での丁寧な対応を意識するとともに、市民サービスの向上に努めました。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>超高齢社会が進展しているなか、住み慣れた地域でいつまでも元気で健康に暮らし続けられるよう、高齢者の生活実態把握やニーズ調査、支援に取り組みます。また、「地域包括ケアシステム」の構築に向け、各コミ協が新たに住民主体の訪問型生活支援などを開始できるよう支え合いのしくみづくり推進員と連携を図りながら取り組んでいきます。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座を開催するなど、健康寿命延伸に向けた取り組みを推進します。</p> <p>東区の健康課題であるこどものむし歯の改善に向け、こども食堂における歯と食育の健康相談会の開催や、保育園・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブにおけるむし歯予防教室を開催します。</p> <p>子育て支援事業は、「い〜てらす」や「わいわいひろば」において、ウェブを活用し新しい生活様式に対応した子育て支援講座を開催するなど親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組みます。児童虐待については、関係機関と連携して発生予防・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>窓口サービスにおける市民満足度の更なる向上を目指し、継続的な業務改善に取り組み、効率的・効果的な市民サービスを行います。</p>	<p>高齢者の生活実態把握とニーズ調査は、対象の全世帯への訪問を実施し、状況に応じて適切なサービスへ繋げることが出来ました。また、継続的に支え合いのしくみづくり会議情報交換会を開催し、各コミ協の取組が円滑に進められるよう進捗状況の確認や情報共有を図りながら支援を行った結果、先行する地域の事例を参考に、住民主体の訪問型生活支援の検討をする地域も出てきました。今後も引き続き、地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援してまいります。</p> <p>健康寿命延伸のためコミュニティ協議会と協働し、介護予防講座を開催しました。また、昨年度開催したコミュニティ協議会に自主活動の支援をしました。</p> <p>子どものむし歯の改善に向け、こども食堂、保育園・認定こども園・幼稚園、放課後児童クラブで歯と食育の健康相談やむし歯予防教室を実施しました。今後も関係機関等と連携し、むし歯予防の取り組みを継続します。</p> <p>「い〜てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援事業により、子育て世代同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に寄与することが出来ました。</p> <p>区内の小中学校を定期訪問することで学校との連携強化が図られ、児童虐待の発生予防・早期対応に繋がりました。</p> <p>業務改善では、まん延防止等重点措置への対応として、保育園入園説明会を動画配信で開催したほか、チャットツールの活用による係内の情報共有などを実施しました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2110
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域のコミュニティ活動を支援し、区民との協働によるまちづくりを進めます。また、東区の活性化に向けて地域課題の解決に取り組むとともに区内の産業、文化、スポーツ等の振興に努めます。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1	4	東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、「産業のまち東区」のPRや、歴史の普及啓発や文化の発信に取り組んでいきます。	・Instagramなど、さまざまなメディアを活用した情報発信を強化	Instagramを活用した情報発信				Instagramを活用したフォトコンテストの実施	Instagramを活用したフォトコンテストの実施	・応募者61人、応募作品数193点 ・募集期間 10/1～1/31 4か月間	・フォトコンテストを実施し、193点の応募がありました。応募作品をInstagramで紹介し、東区の魅力を継続的に発信しました。	達成
			・東区歴史文化プロジェクトの実施	まち歩きの実施(回数)	2	3	3	3	3			・11月に、淳足柵探索コース、牡丹山諏訪神社古墳探索コース、じゅんさい池コースの計3回のまち歩きを実施しました。
2	5	貴重な自然環境を有するじゅんさい池を未来につなぐため、魅力を発信するとともに、今後の活用方法などを検討していきます。	・じゅんさい池みらいプロジェクトの実施	有識者会議による検討(仮)じゅんさい池みらいプランの策定			有識者会議の立ち上げ、検討	(仮)じゅんさい池みらいプランの策定	じゅんさい池みらいプランの策定		・R2～R3年度にプラン策定作業を実施。 ・地域や有識者から意見を聞くじゅんさい池みらい会議をR2に3回、R3に4回、計7回実施し、プランを策定しました。	達成
3		地域の力が発揮できるまちを目指し、住民自治推進の核となるコミュニティ協議会の活動活性化の促進を支援し、区民と行政の協働によるまちづくりに努めます。	・コミュニティ協議会への支援	コミュニティ協議会への訪問相談の実施(回数)	-	-	12回	12回	12回(書面)		・実施予定時期に、まん延防止等重点措置(1～3月)が適用されたため、書面で実施しました。分かりやすい内容となるよう、マニュアルの一部を改訂したほか、簡潔に要点をまとめた連絡事項一覧を配布し、電話や窓口における個別相談も丁寧に対応しました。	達成
4		区バスをはじめとする区内の公共交通について更なる利用促進を図るとともに、地域の移動ニーズに対応した持続可能な移動方法を検討していきます。	・区バスの利用促進 ・地域の移動ニーズに対応した交通手段の検討	区バス年間利用者数(人)	・河渡ルート 51,841人 ・松崎ルート 53,712人	・河渡ルート 49,801人 ・松崎ルート 53,036人	・河渡ルート 41,135人 ・松崎ルート 40,559人	・河渡ルート 42,000人 ・松崎ルート 41,000人	・河渡ルート 45,180人 ・松崎ルート 42,490人	・「東区生活交通改善プラン」に基づき設定	・新型車両導入イベントや区だより等により、区バスの利用促進について、広く周知を図りました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰で楽しめるように、公式Instagramを活用した継続的な情報発信に取り組めます。また、東区の歴史について普及啓発を図るため、引き続き、まち歩きを実施します。</p> <p>じゅんさい池を未来につなぐため、前年度開催した有識者会議の検討に基づき「(仮)じゅんさい池みらいプラン」を策定し、魅力発信や活用につなげます。</p> <p>地域の核となるコミュニティ協議会に向けて、地域コミュニティ協議会運営助成金、地域活動補助金の各制度に対する理解を深めてもらうため、訪問相談を実施することで、当該団体の活動活性化の促進を支援し、地域の力が発揮できるまちづくりを目指します。</p> <p>コロナ禍における、安心・安全な公共交通の利用につなげるため、区バスの車両更新を行うとともに、広く区民へ周知を行うことで利用促進につなげます。</p>	<p>東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰で楽しめるように、フォトコンテストを実施しました。応募作品を公式Instagramで紹介し、継続的に東区の魅力を発信しました。</p> <p>東区歴史文化プロジェクト(まち歩き)については、計画どおり3回実施し、多くの方(定員45人:参加者44人)から参加をいただきました。各回とも満足度が90%以上となっており、今後も区内の歴史について普及啓発が図れるよう取り組んでいきます。</p> <p>じゅんさい池みらいプロジェクトについては、地域住民や有識者で構成するじゅんさい池みらい会議をR2年度(3回)、R3年度(4回)、計7回開催し、「じゅんさい池みらいプラン」を策定しました。R4年度以降は、プランに基づき活動母体の基盤づくりを支援するほか、地域や行政が各々の役割のもと活動を展開するとともに、魅力発信や保全活動への関心を高めるための機運醸成を図っていきます。</p> <p>コミュニティ協議会への支援については、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて、書面開催による補助制度等の情報提供と質疑応答を行い、各団体の活動を支援しました。今後も、地域の核となるコミュニティ協議会の活性化につながる支援を継続していきます。</p> <p>区バスの利用促進については、R3年10月1日からの松崎ルートにおける新型車両の導入に伴い、区だよりやイベントを通じ広く周知に努めました。R2年度同様、コロナ禍での運行となりましたが、R2年度の利用実績を上回るとともに、目標を達成しました。</p>